

# 【広島市消費者物価指数】

## 1 平成 27 年 4 月の動向

- 広島市総合指数（103.8）は前月比で 2 か月連続の上昇。前年同月比は 22 か月連続の上昇。
- 生鮮食品を除く総合指数（103.2）は前月比で 2 か月連続の上昇。前年同月比は 22 か月連続の上昇。
- 食料（酒類を除く）及びエネルギーを除く総合指数（101.0）は前月比で 3 か月連続の上昇。前年同月比は 19 か月連続の上昇。

## 2 総合指数、生鮮食品を除く総合指数、食料（酒類を除く）及びエネルギーを除く総合指数

	指 数	前月比 (%)	前年同月比 (%)
総 合 指 数	103.8	0.7	1.3
生鮮食品を除く総合指数	103.2	0.5	0.9
食料（酒類を除く）及びエネルギーを除く総合指数	101.0	0.7	0.8

## 3 前月からの動き

～食料は上昇、光熱・水道及び交通・通信は下落～

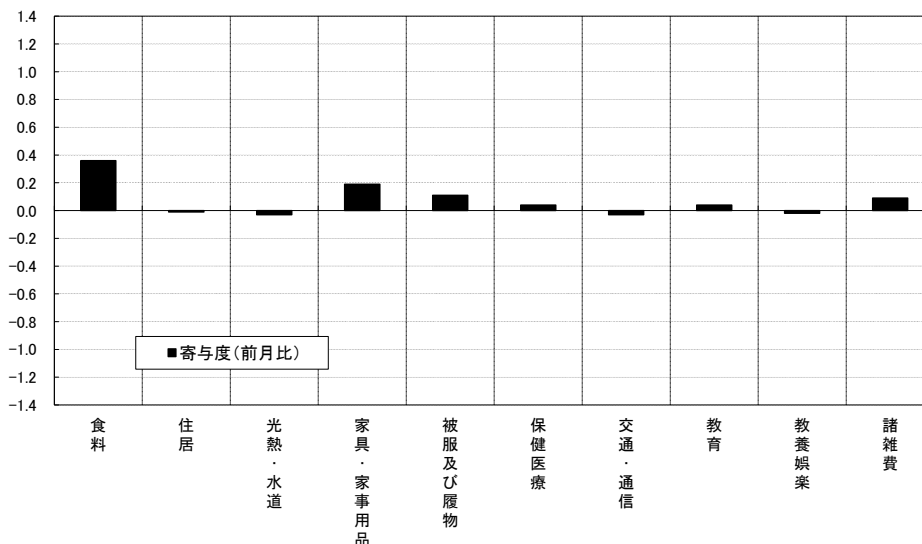
### (1) 10 大費目の動き

	総合	食料	住居	光熱・水道	家具・家事用品	被服及び履物	保健医療	交通・通信	教育	教養娯楽	諸雑費
指 数	103.8	108.4	99.6	113.0	98.0	105.6	101.1	102.5	99.5	97.0	109.9
前月比 (%)	0.7	1.4	0.0	▲ 0.3	5.2	2.6	0.8	▲ 0.2	1.3	▲ 0.2	1.3
寄与度	0.7	0.36	▲ 0.01	▲ 0.03	0.19	0.11	0.04	▲ 0.03	0.04	▲ 0.02	0.09

(参考) 主な要因となっている 10 大費目について、寄与の大きかった中分類項目

- 食 料：野菜・海藻（前月比 8.3%，寄与度 0.23）等
- 光熱・水道：電気代（前月比 ▲0.7%，寄与度 ▲0.03）等
- 交通・通信：自動車等関係費（前月比 ▲0.4%，寄与度 ▲0.03）等

図 1 10 大費目別前月比寄与度



(注) 寄与度：物価全体（総合）の上昇（下落）に、各費目がどれだけ影響したかを示したものの。本来、寄与度の合計は、総合指数の前（年同）月に対する変化率となるが、四捨五入の関係で一致しない場合がある。

(2) 総合指数に対する寄与の大きかった中分類項目 (寄与度順)

上 昇		下 落	
項 目 (主な品目名)	前月比	項 目 (主な品目名)	前月比
野菜・海藻	8.3%	教養娯楽サービス (外国パック旅行 等)	▲1.1%
家庭用耐久財 (ルームエアコン 等)	12.8%	肉類 (鶏肉 等)	▲1.7%
シャツ・セーター類	12.1%	果物	▲2.5%
身の回り用品 (ハンドバック[輸入品を除く] 等)	4.8%	電気代 (電気代)	▲0.7%
魚介類 (たい 等)	2.0%	自動車等関係費 (ガソリン 等)	▲0.4%

4 前年同月からの動き

～食料は上昇, 交通・通信は下落。～

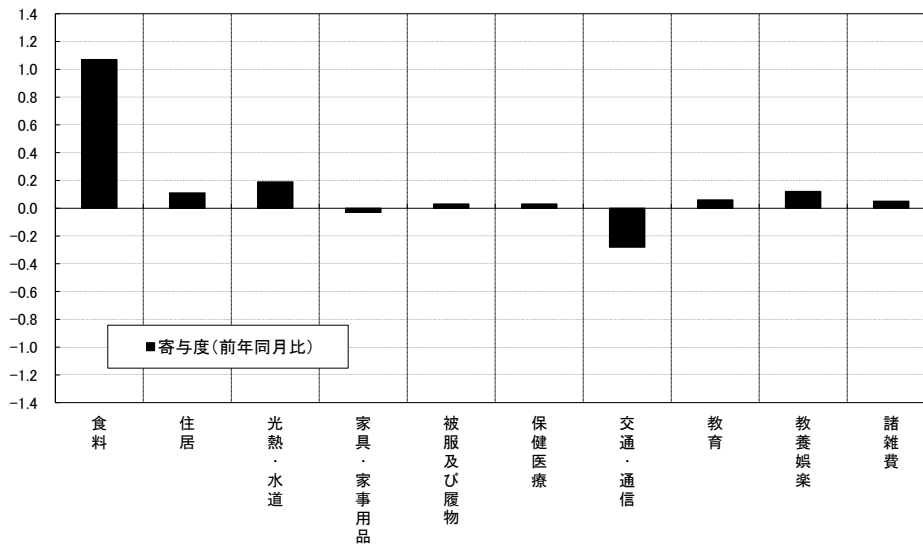
(1) 10大費目の動き

	総合	食料	住居	光熱・水道	家具・家事用品	被服及び履物	保健医療	交通・通信	教育	教養娯楽	諸雑費
前年同月比 (%)	1.3	4.1	0.6	2.4	▲0.9	0.7	0.7	▲2.0	1.9	1.1	0.7
寄与度	1.3	1.07	0.11	0.19	▲0.03	0.03	0.03	▲0.28	0.06	0.12	0.05

(参考) 主な要因となっている10大費目について, 寄与の大きかった中分類項目

食 料: 野菜・海藻 (前年同月比 10.0%, 寄与度 0.27) 等  
 交通・通信: 自動車等関係費 (前年同月比 ▲3.6%, 寄与度 ▲0.28) 等

図2 10大費目別前年同月比寄与度



(2) 総合指数に対する寄与の大きかった中分類項目 (寄与度順)

上 昇		下 落	
費 目 (主な品目名)	前年同月比	費 目 (主な品目名)	前年同月比
野菜・海藻 (きゅうり 等)	10.0%	自動車等関係費 (ガソリン 等)	▲3.6%
調理食品 (うなぎかば焼き 等)	7.9%	穀類 (うるち米 等)	▲5.9%
魚介類 (まぐろ 等)	7.0%	シャツ・セーター類	▲7.7%
肉類 (牛肉[輸入品] 等)	6.9%	他の光熱 (灯油)	▲14.6%
果物 (バナナ 等)	11.7%	家庭用耐久財 (ルームエアコン 等)	▲2.5%